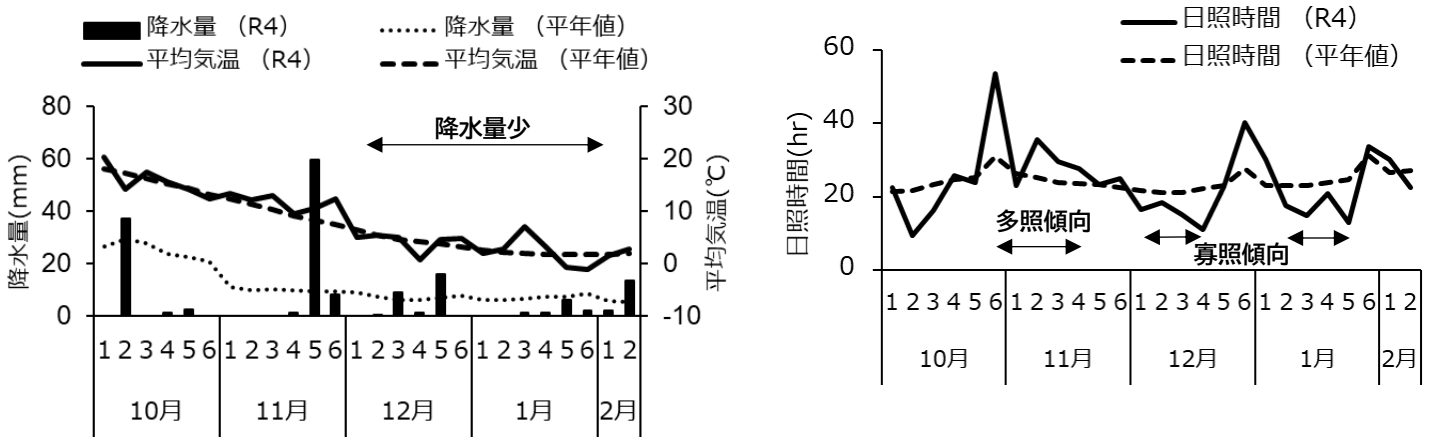




今後の栽培管理のポイント

- (1)排水状況の確認 (2)麦踏み (3)追肥 (4)雑草防除

1 気象経過 (10月第1半旬～2月第2半旬, 仙台アメダス)



- ・降水量：11月第5半旬にまとまった降雨があったものの、平年と比べて概ね少なく推移しています。
- ・日照時間：11月は平年に比べて多照傾向、12月～1月は寡照傾向で推移しています。

2 大麦生育調査結果 (2月10日現在)

・仙台市 (シュンライ, ホワイトファイバー)

適期に播種され、天候に恵まれたことから、莖数はいずれも 1000 本/m²以上となっており、葉の黄化が目立ちます。シュンライの幼穂長は 1.7mm で幼穂形成期に入りました。ホワイトファイバーの幼穂長は 2.0mm で、近く莖立期を迎えると推測されます。前年の生育と比較すると、今年は莖数が多く、生育ステージも進んでいます。

・大和町 (ホワイトファイバー)

播種期が適期からやや遅い 10 月 26 日でしたが、播種後の天候に恵まれたこともあり、莖数は 566 本/m²と概ね順調な生育です。幼穂長は 1.5mm で、幼穂形成期に入りました。

表 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和5年2月10日調査)

品種	ほ場	条間(cm)	播種日		草丈(cm)		莖数(本/m ²)		幼穂長(mm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
シュンライ	仙台市 宮城野区	22.7	10月16日	-6	10.7	98	1355	182	1.7	+0.6
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	21.6	10月15日	-9	9.3	82	1049	137	2.0	+1.1
	大和町 落合	34.2	10月26日	—	10.0	—	566	—	1.5	—

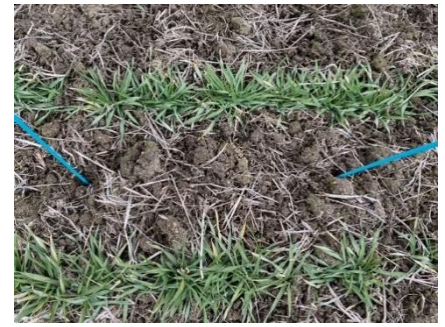
※大和町は調査1年目のため、本年値のみ示す。



仙台市シュンライ



仙台市ホワイトファイバー



大和町ホワイトファイバー

3 今後の栽培管理

(1)排水状況の確認

融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検(閉じていないか)」「明きよの手直し」を行いましょ。

[出芽後期～分けつ期]に湿害が及ぼす影響→浅根, 分けつの減少, 葉の黄化

[節間伸長期～出穂期]に湿害が及ぼす影響→弱小分けつの枯死, 穂数の減少, 穂の縮小

化



○排水環境の良い例
額縁明きよとほ場内明きよが排水路につながっている



○手直しが必要な例
ほ場内明きよが排水路とつながっていないため滞水。

(2)麦踏み

麦踏みの時期は、莖立期前までとなります。今年は、麦の播種作業が概ね適期に終了したほ場が多く、また播種後の天候にも恵まれたことから、生育が早い傾向にあります。このため、大麦では間もなく莖立期を迎えると思われます。麦踏みの実施にあたっては、幼穂の長さを確認し、麦踏みを実施できるかどうか慎重に判断しましょう。

・効果：生育・穂揃いの均一化など

・実施時期：**莖立期前までに実施**(幼穂長 2mm 頃から莖立ち)

・回数：年明け後 1～2 回(播種後から全 2～3 回)が基本です。

〔 ⚠ 下記の状態では逆効果なので、麦踏みは実施しないようにしましょう。 〕

●鳥類の食害がある

●ほ場が湿っている

・「ホワイトファイバー」は、「シュンライ」と比べてやや倒伏しやすいため、莖立ち前であれば必ず麦踏みを実施しましょう。

(3)追肥

幼穂形成期に達したほ場がある一方、白鳥の食害や葉の黄化が目立つほ場が散見されます。麦の生育状況や生育ステージを確認して、適期に実施しましょう。

【株直し追肥】

- ・播種時期が遅く生育量が少ない（年内の茎数が 500 本/m²以下）、葉の色が薄い、鳥類による食害が多い場合
- ・追肥時期：融雪後
- ・施用量：窒素成分 1 kg/10a（硫安 5kg/10a）

【幼穂形成期の追肥】

- ・麦類は幼穂長が 2 mm を超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。
⇒**生育ステージを確認し、確実に追肥を行いましょう。**
- ・効果：穂数の増加
- ・追肥時期：幼穂長 2 ～ 3 mm の時期
- ・施用量：窒素成分 2.5kg/10a（硫安 12kg/10a）

⚠ 株直し追肥及び幼穂形成期追肥を行う際の注意点

追肥量が多すぎたり、生育が旺盛で 1 回にまとめて追肥すると、倒伏の原因となるので、下図を参考に適期・適量施用に努めましょう。

大麦の生育状況		大麦の生育と追肥時期の目安			
		2月			3月
		上旬	中旬	下旬	上旬
○株直し追肥が 必要ない場合	・生育通常 ・生育通常葉の黄化なし	【麦生育ステージ】	幼穂形成期(幼穂長:2~3mm)		
		【追肥時期】	①幼穂形成期追肥 窒素成分		
○株直し追肥が 必要な場合	・茎数が少ない	【麦生育ステージ】			幼穂形成期 (幼穂長:2~3mm)
		【追肥時期】	①株直し追肥窒素成分1kg/10a		②幼穂形成期追肥 窒素成分2.5kg/10a
	・生育旺盛だが葉が黄化 ・生育旺盛だが鳥害が目立つ	【麦生育ステージ】	幼穂形成期(幼穂長:2~3mm)		
		【追肥時期】	①株直し追肥 窒素成分1kg/10a	②幼穂形成期追肥 窒素成分1~1.5kg/10a	

図 大麦における生育ステージと追肥時期の目安

(4)雑草防除

- ・今後、気温の上昇とともに雑草の発生が目立ってきます。
雑草の発生状況に応じて適宜、除草剤（茎葉処理剤）の散布を検討しましょう。



雑草防除の際の注意点

- ・幼穂形成期及び茎立期（節間伸長期前）を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので、生育を確認して適期に使用しましょう。
- ・散布後、薬剤が乾かないうちに雨が降ると、薬剤が流れ落ちて効果が劣るため天候に注意して作業しましょう。
- ・薬剤の対象雑草が限られているので、優先雑草を把握し、目的に合ったものを使用しましょう。

表 麦類の使用可能な除草剤（令和5年2月8日現在）

薬 剤	作 物	適用雑草	10a当たり使用量 (散布液量)	使用時期	使用方法	備 考
ハーモニーDF	小麦	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5~10g (50~100L)	麦3葉期~節間伸長期前	雑草茎葉散布 又は全面散布	スズメノ テッポウに は、雑草5葉 期までに散 布。
		一年生広葉雑草	3~10g (50~100L)	節間伸長期開始期 ~穂ばらみ期 ただし収穫45日前まで		
	大麦	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5~10g (50~100L)	麦3葉期~節間伸長期前		
MCPソーダ塩	麦類 (秋播)	一年生及び多年生 広葉雑草	200~300g (70~100L)	幼穂形成期 ただし収穫45日前まで	雑草茎葉散布 又は全面散布	
エコパート フロアブル	小麦 (秋播)	一年生広葉雑草	50~100mL (100L)	小麦節間伸長期開始期まで (広葉雑草2~4葉期, ヤエムグラ2~6節期) ただし収穫45日前まで	雑草茎葉散布 又は全面散布	
	大麦	一年生広葉雑草		大麦節間伸長期開始期まで (広葉雑草2~4葉期) ただし収穫45日前まで		

※最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

※農薬使用の際に飛散防止対策を講じたうえで、使用してください。

○1 か月予報（仙台管区气象台 2月16日発表）

向こう1か月(2月18日~3月17日)	平年同様に晴れの日が多く、気温は平年に比べて高い確率が50%です。降水量、日照時間はともに平年並の確率が40%です。
1週目(2月18日~2月24日)	気温は平年並の確率が50%です。
2週目(2月25日~3月3日)	気温は平年に比べて高い確率が60%です。 この週は気温がかなり高くなる可能性があります。
3週目(3月4日~3月17日)	気温は平年並または高い確率ともに40%です。